

ねらい

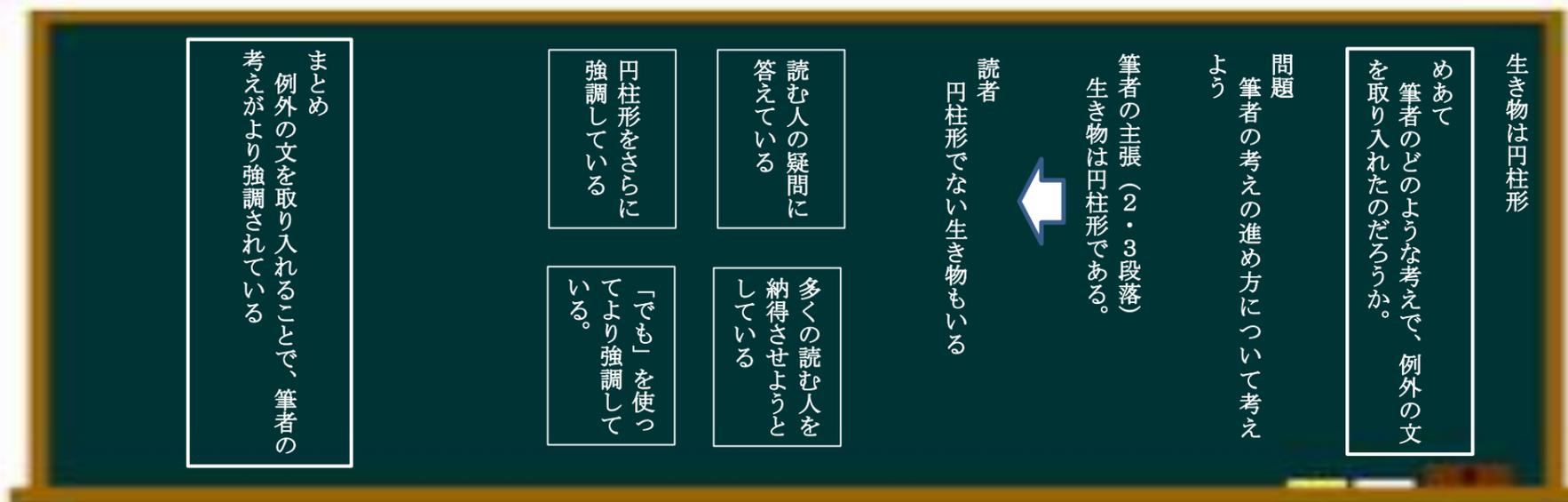
○筆者が例外を書いた理由を話し合うことを通して、筆者の考えの進め方に対して、自分の考えをもつことができるようにする。

身に付けさせたいこと

○段落の役割を考えることで、筆者の考えの進め方を捉えさせる。

表れてほしい児童の意識(姿)

○筆者の考えの進め方について自分なりの考えをもち、説明の仕方の工夫を捉えようとしている。



授業の流れ

○主な発問

☆指導内容

・予想される児童の反応

□評価

**1 学習課題を把握する 7分**

○前時はどんな学習をしたかな。  
 ・それぞれの段落には筆者の主張を助ける役割がある。  
 ・題名も主張を読み取る手がかりとなる。  
 ・例を使うことでわかりやすくなる。  
 ・手がかりとなるキーワードがある。

☆前時までの学習を想起させることで解決への見通しをもたせる。

問題 筆者の考えの進め方について考えよう。

○4・5段落は今までの段落とはどのように違うかな。  
 ・筆者の主張に対する考えを聞くことで、反論の考えを引き出させる。  
 【めあて】筆者はどのような考えで例外の文を取り入れたのだろうか。

☆問題文に対する児童の気付きを引き出したところで、めあてに戻り、例外を取り入れた文章にした理由を考えていくことを確認する。

**2 個別に課題を追究する 7分**

○筆者が反論の文を問い入れた理由を考えてみよう。  
 ・円柱形でないものも紹介したい。  
 ・生き物は円柱形という考え方に共感していない人があることもある。  
 ・読んでいる人を納得させるため。  
 ・読んでいる人の疑問に答えている。  
 ・円柱形だということを強く主張しようとしている。  
 ・「なるほど、円柱形だ」と思う人と「そうかな、円柱形ではないのではないかな」と思う人、両方の人のことを考えて説明している。

☆「考えたのではないだろうか」や「でも」の繰り返しに着目させ、予想される反論とそれに対する答えであることに気づかせる。  
 ☆例外への答えがないと筆者の考えの伝わり方に変化があるのか考えさせる。  
 ☆机間巡視をし、よい考えをもつ児童を意図的指名し、授業への参加意識を高めさせる。  
 ☆ノートには考えを簡潔に記入させる。

**3 考えを発表し合い、意見交流をする 23分**

○どのように考えたか説明しよう。  
 ・ペア学習で意見交換を行い、ホワイトボードに記入させる。  
 ・ペア学習をもとに全体で筆者の考えの進め方について話し合いを行う。  
 ・「でも」の役割をしっかりと押させていくことで、反論に対する答えであることを抑えていく。  
 ・円柱形と思わない人も受け入れた上で、説明している。  
 ・反論を取り入れるとさらに考えが伝わりやすい

☆自分の考えを友達にわかりやすく説明することを意識させる。  
 ☆友達の説明と自分の考え方を比べながら聞かせることで、他の児童の考えを読み取らせたい。  
 ☆ペアで考えを説明し合う活動を取り入れ理解を深めさせる。

評 【読】読者の多くが抱く疑問に答えることで、説得力を強めていることに気付いている(発言、ノート)

**4 学習のまとめをし、振り返りをする 8分**

○今日の学習のまとめをしましょう。  
 ・自分の主張だけでなく、取り入れるとわかりやすい。  
 ・説得力がある。  
 ・多くの人への気遣いが感じられる。

【まとめ】

☆本時のキーワード「例外」「説得力」などを使って一人一人にまとめを考えさせてからまとめていく。

○次時を知る。  
 次は6から10段落)の役割を考えていくことを知る。

☆他の段落ではどうかなという意識を引き出させるとともに、本時の学習の振り返りをさせる。

